

番号	2 - 2	申請者	院長 上山 秀嗣
<p><b>【審査申請課題】</b>  非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究  All Nippon AF In Elderly Registry－ANAFIE Registry－</p> <p style="text-align: center;">* 終了報告</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>本研究は、非弁膜症性心房細動(NVAF)を有する後期高齢(75歳以上)を対象に、2年間の治療実態の集積を行い、抗凝固療法の実態及びその予後を明らかにするとともに、脳卒中/全身性塞栓症及び頭蓋内出血のリスク因子を特定し、直接経口抗凝固薬(DOAC)に最適な治療対象集団及びその使用方法を明確にすることを目的とする。さらに、副次的に後期高齢AF患者における様々な課題に関連する因子を検討・評価することで、後期高齢AF患者のトータルケアに資する情報の創出に繋がることが期待される。なお、本研究はNVAFを有する後期高齢患者の治療状況を前向きに観察する多施設共同の臨床研究であり、治療への介入はない。</p> <p>本研究は、非弁膜症性心房細動(NVAF)を有する後期高齢患者(75歳以上)を通常診療下において2年間観察し、脳卒中、全身塞栓症等のイベント及びその他の観察項目をベースライン時、12ヵ月時、24ヵ月時に報告する主研究部分と、副次的に非弁膜症性心房細動(NVAF)に関連する種々の臨床的クエスチョンについて検討する7つのサブコホート研究からなる。ただし、当院では主研究部分のみ実施し、サブコホート研究は実施しない。</p>			
審査結果	承認 ( 令和2年5月11日 )		